

快適な生活環境の維持向上と推進に向けて

東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 課長 木村 秀嘉

平成29年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から東京都の環境衛生行政に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、夏にリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック大会が開催され、デング熱やジカウイルス感染症の国内感染発生が危惧されていたところですが、幸いにも国内感染の発生はありませんでした。これもひとえに皆様の活動をはじめ各取組が功を奏したものと思っております。

東京都では、平成26年のデング熱の国内感染発生を受け、都民の安全・安心のために、蚊が媒介する感染症の発生を防止するため、6月を蚊の発生防止強化月間と定めて、都民や施設管理者向けに、蚊の発生防止を呼びかけ、対策に力を入れております。

感染症を媒介する蚊の調査では、都全域での広域サーベイランスに加え、都市部の公園で重点サーベイランスを行っており、本事業においては今や貴協会の経験と技術力は欠かせないものとなっております。

年間を通じて世界の温暖な地域では、デング熱やジカウイルス感染症等の蚊が媒介する感染症が広い範囲で流行しており、海外渡航者が感染する例も少なくありません。加えて、スズメバチやトコジラミ、マダニに関する相談件数も増加しており、衛生害虫に対する都民の関心も高まっております。そうした中で、都は感染症の発生防止に向けて迅速に対応していきますので、引き続き、感染症の発生防止及び環境整備について御協力をお願い申し上げます。

貴協会におかれましては、日本だけでなく海外の情報を機関誌や講演会等を通じて事業者や都民等に情報発信されたり、災害時にも迅速に活動を行ったりしていることは高く評価されております。今後も、永年にわたり現場で培われた豊富な知識や技術と科学的知見に基づいた専門性の高い活動を進めていただき、都民の衛生的で快適な生活環境の維持向上と推進にますます御尽力をいただけるものと期待しております。

本年は酉年。「酉」は、口の細い酒つぼの象形で、収穫した作物から酒を作る、あるいは、作物が収穫できる状態であることを意味し、転じて「実る」や「商売繁盛」につながると言われております。本年が貴協会にとりまして更なる飛躍の年となりますよう、また、会員の皆様の御健康と御活躍、そして、実りある年となりますことを祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。